

井泉小学校・三田ヶ谷小学校・村君小学校再編成準備委員会
第8回 学校運営部会

会 議 録

日 時	令和6年2月7日(水) 午後6時30分～午後7時50分	
場 所	井泉公民館 講堂	
委 員	平野委員、福島委員、細井委員、染谷委員、藤田委員、高野委員、三井委員、林委員、内田委員、櫻井委員、今成委員、小山委員、小竹委員、蓮見委員	
事 務 局	米花教育総務課長、蓮見学校教育課長、小林教育総務課総務係長	
会議の内容	1 開会 2 副部会長あいさつ 3 議事 (1) 校章デザインの公募について (2) 校歌の制作方法について (3) その他 4 閉会	
会 議 録		
1 開会	司 会 (教育総務係長)	井泉小学校・三田ヶ谷小学校・村君小学校再編成準備委員会 第8回学校運営部会を開会する。
2 副部会長あいさつ	副部会長	<平野副部会長あいさつ>
	司 会 (教育総務係長)	議事の進行については副部会長にお願いする。
	副部会長	議事に入る。本日の会議の目的は、校章デザインの選定方法及び校歌の制作方法について協議する。
3 議事 (1)校章デザインの公募について	副部会長	議事(1)校章デザインの公募について、事務局の説明を求めた。
	事務局 (教育総務課長)	資料1の2ページである。 校章デザインの公募については、2月5日(月)から4月5日(金)まで実施する。周知方法として、

		<p>広報はにゅう 2月号及びホームページへの掲載、3地区へのチラシ配布、3校児童への応募用紙の配布、市役所、市民プラザ、公民館へ応募箱及び応募用紙の設置を行う。募集状況により、応募サイトへの掲載を依頼する。現在、6件の応募がある。</p> <p>選定方法である。前回会議において、学校運営部会、再編成準備委員会で絞り込んだ後、最終案は3校児童の投票により決定することとしている。</p> <p>まずは、学校運営部会として、再編成準備委員会に提出する作品を選出することになる。</p> <p>校章デザインの公募締切り後、事務局で応募作品をとりまとめ、委員に事前に送付する予定である。</p> <p>各委員は、その中から校章デザインとしてふさわしいと思う作品を選んでいただく。応募数にもよるが、10点程度を選び、事務局に報告してもらう予定である。</p> <p>学校運営部会でどこまで絞り込むかは、次回会議で決定する。最終的に3校児童による投票は、3作品程度で行いたいと考えている。</p>
	副部会長	今の説明について質問、意見はあるか。
	委員	全てカラーなのか。
	事務局 (教育総務課長)	全てカラーである。
	委員	例えば100点あったら全てカラーで送られてくるのか。
	事務局 (教育総務課長)	そういうことになる。A4用紙に何点入れるかは募集件数により変わってくる。
	委員	事務局で白黒やグラデーションを使用したものは外してから委員に送付してもいいのではないか。

(2)校歌の制作方法について	事務局 (教育総務課長)	応募要件をクリアしている作品は送付するが、白黒やグラデーションのもの、図柄が認識できないものは事務局で選定し、外させてもらう。
	副部長	この件についてはよろしいか。 (はいと発言あり)
	副部長	議事(2)校歌の制作方法について、事務局の説明を求めた。
	事務局 (教育総務課長)	資料1の3ページである。 前回会議で、校歌の制作方法は、音楽を専門とする教員の意見を聞き、再度協議するとした。本日は、その報告をした上で、どのように制作していくか協議していただきたい。 まず、校歌制作に係る予算の見込みについてである。 次に、音楽を専門とする教員に意見を聞いた内容について報告する。 まず、①として、作詞・作曲は、プロの方に依頼した方が良いとの御意見である。以下、理由である。 音楽の先生でも、作曲を専門とする先生は少ない。なお、羽生市に勤務する音楽の先生で作曲を専門とする先生はいない。 次に、作詞について、プロに依頼する場合でも、子どもたちから校歌に入れてほしいフレーズなどのアンケートを採り、それを歌詞に反映するなど行うことができる。 次に、作曲について、校歌を多く作っている作曲家は、子どもたちが歌いやすい音程やスピードを考慮しながら制作し、伴奏譜についても、児童がピアノ伴奏できる簡易的な伴奏譜も作成するなど、専門家ならではの対応が可能となる。 また、羽生にゆかりのある方については、残念ながら思い当たる方はいないとのことである。範囲を

	<p>広げて、埼玉県にゆかりのある方とし、2名の推薦を受けている。</p> <p>最後に、校歌の重みを把握していることである。最近では、ポップ調の校歌もあるが、やはり、校歌としての重みを感じられる曲がふさわしいとのことである。また、その重みゆえに、通常の教員では、仮に制作依頼があっても、なかなか引き受けられないとのことである。</p> <p>次に、②として、作詞と作曲を別々の方にお問い合わせできるかどうかは、作曲家と個別に相談することになる。同じ方が作詞作曲した方が、一体的に制作でき望ましいが、必ずしも同じ方でなければやらないということではない。</p> <p>次に、③として、プロに依頼した場合、作曲するには通常1年半程度の時間を要するとのことである。他市の例では、約9か月で作詞作曲していただいた実績もあり、依頼する際は、納期も相談した方が良いとのことであった。</p> <p>4ページである。</p> <p>次に、④として、音楽の先生から推薦された候補者についてである。</p> <p>一人目は、橋本祥路先生である。校歌の作詞・作曲については、多数の実績をおもちであり、また、教科書にも掲載される合唱曲も作曲されている。</p> <p>二人目は、松井孝夫先生である。橋本先生と並んで、特に中学生の歌う合唱曲によく選ばれている作曲家である。校歌についても多くの実績がある。</p> <p>また、前回会議において、校歌の制作時期について質問があった。今のスケジュールでは、令和6年度内に制作し、新校開校時には、新たな校歌を歌えるよう進めている。その後、全国的な事例を見ると、校歌については、新しいコミュニティとしての一体感、開校後の学校の様子を見ることで具体的なイメージをもつことができることから、開校後に学校・児童・保護者・地域と一緒に作成する事例も見受けられた。また、閉校行事に向けて現在の校歌の練習</p>
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

		<p>をしているときに、新校の校歌の練習を並行して行うのは心情的に望ましくないと判断し、新校開校後に校歌を制作した事例があった。その場合、校歌制作の用途は、新校一期生の卒業式に新しい校歌を歌えるようにすることである。</p>
	副部会長	<p>今の説明について質問、意見はあるか。</p>
	委員	<p>ここで決めて依頼した場合に、納期の都合とか、いろいろな条件が合わず断られた場合はどうするのか。</p>
	事務局 (教育総務課長)	<p>次案があればお願いしていく。その場合、タイミングによって年度内の制作は厳しくなる。</p>
	委員	<p>候補者として、何名か優先順位を決めておいた方がスムーズになる。</p>
	事務局 (教育総務課長)	<p>作詞作曲を同じ方とする場合、作詞作曲を分ける場合など、2案程度あると良い。今の段階では1案でも大丈夫である。</p>
	委員	<p>スケジュールありきなのか、新しい学校が出来た最初の卒業式までに間に合えば良いとするのかによって、作詞作曲を含めて選び方が分かれてくる。来年の4月までに制作する選択をするなら、校歌制作事業者に全てを任せて、レコーディングした方が一番リスクは低い。</p>
	事務局 (教育総務課長)	<p>今までのスケジュールは、令和6年度中に制作するとしている。前回の会議で、校歌がないと開校できないのかとの意見があった。校歌がなくても開校できることから、他市の事例を調べたところ、開校後に校歌を作っている事例もあり、もう一度協議しても良い部分であると考えている。</p> <p>時期的なことだけを見ると、新校開校後、卒業</p>

	副部会長	<p>式までに作成しようとする、1年ないという状況には変わらない。そのため、どういう方向性で決めていった方が良くということだけは決めておいた方が良く。</p> <p>前回の会議において、事務局が羽生市教育研究会音楽部長にヒアリングし、意見を仰ぐことになった。そう考えると、先生が推薦してくださった2名なのか、羽生にゆかりの方というと、3校の校歌に携わっている宮澤章二先生に関わる方も入ってくると思う。</p>
	委員	<p>これまでたくさん議論をしてきて、特に校名と校章に関しては、ざっくりだが、公募があり広くいろいろな人の意見を聞いて判断してきた部分があるが、今回の校歌に関しては、公募の要素は全くなく、ここの密室の場で決めている印象が非常に強い。</p> <p>公募的な要素は一切入れないのか、入れないとしたら、どうしてなのか。例えば、煩雑になるからとか、きりがいいからとか、意見聞いてもしょうがないからなのかを、記録として議論として残しておかないといけない。全く公募しない、あるいは公募の要素が入れられるのなら、どこかで入れることも一つのやり方であると思う。</p>
	委員	<p>正直公募されると、我々もお手上げである。全然分からない。その方向に流れが行ったので、今の話になっている。今の話は、また原点に戻って話をするのか。もう1年2か月切っているのに、またそれを言われたら、ちょっと困るなという思い。今、聞いてびっくりした。</p>
	委員	<p>校歌そのものを公募するのではなく、今我々が考えている羽生ゆかりの人にするのか、羽生の人をどうするのか、そういう狭い部分での公募で意見を聞くことも無理か。おかしいことか。例えば橋本先生</p>

		にするのか松井先生するのかを公募するのは駄目なのか。
	事務局 (教育総務課長)	言葉のイメージで公募というと、羽生東小学校校歌募集というイメージになる。橋本先生が良いか、松井先生が良いかというのは、アンケートのイメージがあるので、公募の内容はどちらのことを指しているのか皆さんの認識を合わせた方が良いでしょう。
	副部長	ここだけの狭いところで決めるよりは、皆さんの意見で決めたという裏付けがあった方が良いでしょうということか。
	委員	公募は、曲のことではなく作る方の公募だと思うが、時間的なこともあり、実績とか、作詞作曲両方できるというところで、橋本先生にお願いしてはどうか。子どもたちのいろいろな意見とか、そういったことも入れて、橋本先生にこの3地区を一回り回ってもらい、景色とかいろいろ見てもらって、歌詞の中に入れてもらうことで、橋本先生が良いのではないかと思う。特に小学校の校歌の作成に実績があるということなので。
	委員	今日たまたま学校運営協議会があり、今回は校章のデザインと校歌を制作する打合せがあるという話をした。その方は校歌をお願いしたことがあるらしく、プロの方に頼むと、子どもたちの思いとか、曲も子どもたちが歌いやすいので非常に良いとのことであった。プロに頼むのが一番良いと思うが、費用が600万円かかるとの話であった。プロの方をお願いするとして予算が足りるのか。
	事務局 (教育総務課長)	他市の事例では、そこまではかからないと聞いている。
	委員	予算ありきにはなるが、プロの方が良いと思う。

	委員	<p>最近では費用がもっと上がっているかもしれない。</p> <p>市教育委員会が出した案に賛成である。やはり作者が子どもたちの思いを必ず聞いてくれる。公募にした場合は、なかなか全員に聞くことはできない。やはりプロはプロなりに把握して作ってくれる。実績からすれば、橋本先生にお願いして、こういう経過で出来ましたと地域に報告すれば良い。</p> <p>もう一点、時期は、やはり4月までに出来ていれば良いと思う。ただ練習するのは4月以降だと思う。その前までは、各学校も校歌を大事にしてもらいたい。私の母校もなくなった。それで、その前の校歌を詞入れにして、地域の方に配った。私も、その話を聞いて送っていただいた。是非今までの校歌を大事にして、それを地域に残してもらえたら良いと思う。</p>
	副部会長	<p>この資料3ページの理由が裏付けになると思うがどうか。</p>
	委員	<p>おそらく事務局が聞いた音楽部長は、行田市の見沼小から来られた方である。その先生が推薦するとしたら、見沼小の校歌を作った方になると思う。逆に違う方に聞いたら、違う方が出てくる。そうなったときに、例えば橋本先生と松井先生の違いは何なのか、ましてや公募は一切駄目であるにもかかわらず、他の事務局案にしてもすごく狭いところから出てきた意見であり、我々が決定していくのが果たして良いのか。公募は、曲を公募するのではなくて、せめて橋本先生、松井先生のどちらが良いか、アンケート的なものがあったとしても良いと思う。</p>
	委員	<p>正解は分からないが、スケジュールがある。このスケジュールの中で可能なのか不可能なのか。不可能であればスケジュールを変えるのか。決めていかないと、多分来年になっても答えが出てこない。</p>

		我々はどこかで決めないといけない、方向性を付けないといけない立場で来ている。
	副部会長	例えば簡易的なアンケートについて、スケジュールに合わせて採ることができるのか。
	事務局 (教育総務課長)	アンケートの対象を誰にするかによる。
	委員	橋本先生か松井先生だと思う。他の方は、事務局の説明では、市民から推薦があったというだけで公平ではない。今までの話の中では橋本先生、松井先生に良い印象がある。このアンケートは採っても良いと思う。
	委員	アンケートを採るのは学校の児童なのか、市民を対象にするのか。
	委員	子どもたちにこれは判断できない。
	委員	公募は難しいと思うが、予算があって、業者に手を挙げてもらって、その中から選ぶことは時期的に厳しいのか。それであれば、手を挙げたところに、こちらの意向を汲んでもらえれば良い。
	副部会長	橋本先生、松井先生のお二人に話をして、手を挙げてもらえるか確認することはできないのか。
	事務局 (教育総務課長)	話してみないと分からない部分である。話をしたから絶対その人をお願いしないといけないということはない。例えば、候補者全員に話をしてほしいということなら話はできる。予算などを伝え、できるか確認することはできる。
	委員	宮澤章二先生に関係のある方の校歌を見たことがある。3校の校歌の作詞者でもあり、頼むのであ

		れば作曲者を検討しても良いと思う。
	委員	アンケートは難しい。橋本先生や松井先生を知っていればアンケートの採り方もあるが、ほとんどの人は知らない。
	委員	皆さんの意見を聞いて作るのは大事な視点だと思うが、人の名前をアンケートすることが引っかかる。こちらから人物を紹介してアンケートを採ったときに、文字だけでどこまで判断できるのか難しいと思う。アンケートを採るにしても、その方の了承は得ないといけないのではないか。そこにスケジュールが絡んでくると、卒業式を超えてしまう可能性があるので、慎重に考えたいところである。
	委員	学校運営部会という組織が立ち上がっており、アンケートを採る前に、我々の責務として、委員としての責任で選んで良いのではないか。そのために代表として我々が集まっている。アンケートで決めるなら我々はいらないのではないか。
	委員	密室だと言われると、それも正論かなと思う。どんな部会でも密室になってはしまうが、部会だけの中で進めてしまっているのかということ。
	委員	決めていいのかではなく、決めることを目的にこのような部会を立ち上げている。この委員に権限を与えられてお願いされていると思っている。
	委員	校名のと一緒で、アンケートで多いからそれに決めるということではなく、採ったアンケートを参考にして、我々でいろんな意見を出し合って、再編成準備委員会に上げて、決定してもらっている。そういう手順があっても良いと思っている。しかし、会議の流れの中でアンケートはいいと、ここで決めるということであればそれで良いと思う。

	副部会長	<p>非常に異質で、校名、校章は広く門戸を開いて丁寧やってきた。今回に関して、どこかでアンケート的な意見を聞く要素があっても良いと思う。</p> <p>いろんなことがあって面倒なのでやめるのも一つの意見だと思う。その辺を話し合ってもらえると良い。</p> <p>ここでもし橋本先生か松井先生にお願いするとなっても、知識がないので、この一票の重みがとても軽くなってしまふことがある。詳しい方が何人かで話し合っ決めていただくのが一番有効ではないかと思う。</p> <p>ここで決を採っても数だけで決まってしまう。しかし、音楽部会長とのつながりで拭えない部分やフェアでないとなるかもしれない。アンケートを全体で採るとしても知識のない人の一票が入ってしまう。児童、保護者では全く分からない。地域の方でも分からない</p> <p>誰にするかの決定を部会として一任すれば、部会として決定したことにはなる。</p>
	委員	<p>音楽部会の部長にヒアリングしたとあるが、音楽部会の中で話し合っ、この方が良いのではないかという方向なら別になってくる。専門家である音楽の先生が集まった会議で、今の状況を説明し、もっと候補者がいないか確認する。そこで何人か出てきたら、もう一度ここで話し合っはどうか。そうすればもっと公平になってくる。</p>
	副部会長	<p>音楽部会で選んでもらっても、学校運営部会での判断基準がないので、音楽部会に一任するという方法を採用のはどうか。スケジュール上も問題がない。</p>
	委員	<p>一任ではなく、もっと幅広く見つけることができるかもしれないということである。</p>

	副部会長	音楽部会で話し合ってもらって、その中で一位の方を決めてもらえたらいいのではないかな。その部分を学校運営部会として一任することにすれば良い。
	委員	それはできるのか。
	事務局 (教育総務課長)	できると思うが、音楽部会がどのタイミングで集まれるかどうかである。
	委員	大事なことなので、集まる機会を設けていただきたい。
	事務局 (教育総務課長)	ヒアリングは音楽部会長であるが、会として意見を聞いてもらい、その中でこの方が良いのではないかとこのところまで決めてもらうのか。
	委員	そうである。そうすれば我々も決めやすい。
	委員	音楽部長が推薦された方以上の意見が出るかどうか。
	委員	いろんな意見は出てくると思う。意見の中で出てきた方でも予算の都合でお願いできないこともあり得る。日程は変わってくると思うがどうか。
	事務局 (教育総務課長)	スケジュールとして、いつまでに制作できるかは作曲家次第となる。どの段階で校歌が出来ていなければならないのかによる。例えば、一人の作曲家に依頼し、この方が開校時には間に合わないとなったとき、開校時に間に合わなくても良いと受諾するのか、間に合わないのであれば違う方をお願いするのかである。
	副部会長	開校時に校歌がなくても、学校運営上問題はないか。

	委員	<p>開校時に校歌があったとしても歌えない。開校式典などがあったときに披露するとか、校歌の制定日はずれるとかはあっても良いと思う。</p> <p>ただ、卒業式にあったほうが良いと思うので、最悪でも年末までには出来ていると良い。</p>
	委員	<p>音楽部会に聞いても判断するのは学校運営部会だと思う。そうであれば、判断材料の一つとして保護者のアンケートがあっても良いし、地域の方の意見があっても良い。結果として決めるのはここだと思っているので、アンケートの結果が一位だからそこに決めるのではなくて、いろんな意見を聞いて我々がこの人に決めるという手順でやった方が良くと思う。時間や手間はかかるが、意見を聞くというプロセスがあった方が良くと思う。</p>
	委員	<p>新校に携わったことがあるが、開校時に校歌はなかった。そのときは宮澤章二先生にお願いしたが、学校に来てもらい、子どもたちと話してもらい、屋上に上がって地域を見ていただいた。出来上がったのは、1学期終わりか、2学期の初めであった。それでも卒業式には間に合う。</p>
	委員	<p>ニュースで、東京の町田市の小学校の合併で、校歌は子どもたちで作ると言っていた。時間はかかると思うが、予算ありきの部分もあり、まずは予算でできるか当たらないといけない。</p>
	事務局 (教育総務課長)	<p>町田市では、子どもたちが作詞をして、作曲は3曲くらい準備して選んでいくという話であった。</p>
	委員	<p>我々は成果物の音楽を聴き比べることができない。作詞作曲する方を選ぶことしかできない。</p>
	事務局	<p>作曲はプロにお願いするとして、作詞を子どもた</p>

	(教育総務課長)	ちで作ったら良いのではないかというのは、一つの意見としてある。
	副部会長	今までの意見をまとめる。一度、音楽部会で話し合ってもらい、何人か候補者を選んでいただき、次回の学校運営部会で決定する。開校時に間に合えば良いが、間に合わなくても良い。遅くても開校してから年末までに作成することで進めて行くことで良いか。
	委員	最悪で年末ということで、できれば1学期にあった方がいい。
	事務局 (教育総務課長)	音楽部会に依頼し、意見を聞くが、学校運営部会にその結果を報告するために、例えば、一押しの方を決めてもらうのか、何人かの候補を挙げてもらうのか、どちらが良いか。
	委員	音楽部会で一つの答えを出してもらえるとありがたい。何人か候補が出ても、ここで選択するのが難しいと思う。
	委員	結局は実績を見るか、専門家の方に良いと思う人を選ぶしか判断できない。順位を付けて推薦してもらえるとありがたい。
	委員	合唱コンクールに来ていた方が熊谷の合併した小学校の校長先生であった。合唱コンクールを採りまとめている先生なので、その方の意見も聞いたらどうか。
	副部会長	音楽部会からいろんな先生の名前が出ると思うが、次回の学校運営部会ではどのような資料を準備すれば決が採りやすいか。
	委員	推薦してもらう際、その理由を合わせて推薦して

		もらえたら良い。それがあれば選びやすい。
	委員	判断材料が必要である。音楽部会がこの人がいいとなれば、それが判断材料になる。合唱コンクールに来ていた先生から紹介されれば、それも判断材料になる。あくまで材料集めであって、最終的には学校運営部会が議論して、判断する。
	委員	音楽部会から意見を聞いて次回の会議で集まり、そこで決めるのか、またそこからアンケートとかいう話になるのか。次回決めるということをここで決めておいた方が良い。
	副部会長	次回ここで決めることとする。
	委員	今の段階だと集まる判断材料は、音楽部会の意見だけである。それで良いか。
	副部会長	判断材料は音楽部会の意見だけの次回の決議となるが、それについて良いか。
	委員	音楽部会には一から意見を出してもらうのか。
	副部会長	誰から意見を聞いたら適切か、それについて決議したい。
	事務局 (教育総務課長)	ここまで議論していただいている。この議論の状況については音楽部会に報告した上で、意見をお伺いしたいと思うがいかがか。
	副部会長	適正な意見を求めるに当たっては、音楽部会で良いか。
	委員	新しい校歌を作成するに当たり、音楽部会は市内14校の音楽の中心である、専門的な知識のある教員が集まっており、これ以上の組織はないと思って

<p>(3) その他</p> <p>4 閉会</p>	<p>委員</p> <p>副部長</p> <p>副部長</p> <p>事務局 (教育総務課長)</p> <p>副部長</p>	<p>いる。音楽部会で決まった内容は、何よりも重要であると思う。</p> <p>音楽の視点であれば、音楽主任に集ってもらい、頼める方がそれほど出てくるかは分からないが、校歌の制作者としてふさわしい方の候補の順番を理由を含めて挙げてもらい最終的に決めていくのが良いと思う。</p> <p>そのような形で進めることで良いか。</p> <p>(「はい」の発言あり)</p> <p>議事(3) その他についてあるか。</p> <p>今回は、校章デザインを4月5日に締め切った後、委員の皆様を選んでいただく時間が必要なので、4月24日(水)を予定している。</p> <p>校歌の話もあり、24日に校章デザインを先に協議するか、校歌について協議するかは後日決定したい。</p> <p>本日の会議を終了する。</p> <p>井泉小学校・三田ヶ谷小学校・村君小学校再編成準備委員会 第8回学校運営部会を閉会した。</p>
<p>【配布資料】</p> <p>資料1 井泉小・三田ヶ谷小・村君小再編成準備委員会 第8回 学校運営部会</p>		